

2011年の天候

2月の後半を除いて、1月から4月にかけて気温が低くなりました。その後、6月の後半から11月にかけては、一転して気温が高くなりました。特に、6月下旬から7月中旬にかけては暑い日が続きました。この結果、年平均気温は14.2 とほぼ平年並みになりました。一方、年降水量は7月の梅雨期と9月の秋雨期に晴れる日が多かったため、1307.0mm と平年より少なくなりました。反対に、年間の日照時間は2159.9時間と平年より多くなりました。

2011年の気象観測値(日立市役所)

項目	2011年	平年値
平均気温()	14.2	14.1
降水量(mm)	1307.0	1444.6
日照時間(時間)	2159.9	1929.1

平年値(1971~2000年の30年間の平均)

1986年以來の寒い1月 12月終わりから1月にかけて断続的に寒気が入りました。月平均気温は2.9 と平年より1.7 低くなり、1986年以來25年ぶりの寒さとなりました。

雪の多かった2月 本州南岸を頻繁に低気圧が通過し、中旬を中心に雪の降る日が多くなりました(雪日数6日)。市役所では12日に最深積雪4cmを記録しました。

寒い春 3月から4月にかけて再び寒気が入りやすくなり、気温が低くなりました。このため、平和通りのサクラも昨年より5日遅い4月7日に開花しました。

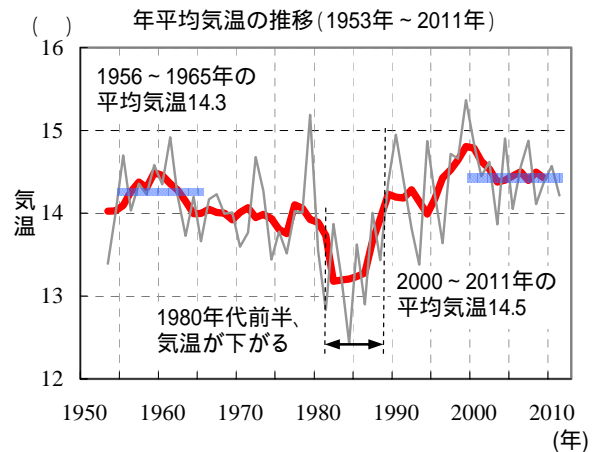
6月下旬から7月中旬の高温 太平洋高気圧が勢力を強め、梅雨前線は東北地方から日本海へ北上したため、晴れて暑い日が続きました。

台風第15号が関東地方を通過 9月21日14時に台風第15号が静岡県に上陸、埼玉県から茨城県北部を通り21日の夜遅くに福島県沖へ進みました。この台風により、日立市でも20日から21日にかけて100~200mmの雨が降りました。

寒い師走 月半ば以降強い寒気が入り、冬型の気圧配置が強まるとともに乾燥した晴天が続いて気温が低くなり、2005年以來の寒い師走になりました。

気温の年変化

日立市役所では、1952年9月から気温の観測を行っています。これまでの年平均気温の変化を見ると、1950年代後半から1970年代にかけて気温は低下する傾向にありました。その後、1980年代前半には一時的に0.8ほど気温が下がりました。1980年代後半から気温は上昇し、1999年に高極となった後やや下がり、2001年から現在まではほぼ横ばいの状態で推移しています。2000年から2011年までの平均気温は14.5 で、1956年から1965年までの平均気温14.3より0.2高くなっていますが、気温が年々上昇する傾向は見られません。



[2011年の主な気象記録]

- 最高気温: 35.6、8月11日
(南西風によるフェーン現象)
- 最低気温: -3.1、1月28日(寒気と放射冷却)
- 最大日降水量: 125.0mm、9月21日
(台風第15号)
- 最大1時間降水量: 40.5mm、6月14日
(寒気による雷雨)
- 最大風速: 13.7m/s、5月30日(南岸低気圧)
- 最大瞬間風速: 24.4m/s、9月21日
(台風第15号)

日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送(ケーブルテレビ5ch)でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話22-5520 IP電話050-5528-5066へどうぞ。